

教科名	保健体育	単位数	3単位	担当者 盛田光則・竹内雄史・宮園慎一 源田裕久
科目名	体育	年次	3年次	
使用教科書 副教材等				
1 学習の到達目標 (何ができるようになるのか)				
<p>・運動の合理的, 計画的な実践を通して, 運動の楽しさや喜びを深く味わい, 生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため, 運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに, それらの技能を身に付けることができる。</p> <p>・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて思考し判断するとともに, 自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うことができる。</p>				
2 学習の評価 (評価基準と評価方法)				
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度	
観 点 の 趣 旨	運動の合理的, 計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解するとともに, 目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて, 課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに, それらを他者に伝えている。競技中の状況を認識し, 必要な技能を発揮している。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう, 運動の合理的, 計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。	
主 た る 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの内容 ・スキルテスト ・ゲームを通じた技能の観察 ・記録会 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの内容 ・競技中の思考力、判断力の観察 ・リフレクションシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・学習カードの内容 	
評 価 全 体 に 占 め る 割 合	50%	25%	25%	
3 学習の目標と振り返り				
	≪目 標≫ ～何ができるようになりたいか具体的に～		≪振り返り≫ ～学習の振り返りと今後の課題～	
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】	
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】	

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
前期	1. 体づくり運動 新体力テスト含む ※体づくり運動の行い方を理解することができる。	○	○	○	・体づくり運動の行い方, 体力の構成要素, 実生活への取り入れなどを理解する。(a, b, c)	行動観察 スキルテスト リフレクションシート グループノート 記録の測定
	2. 球技 ・バレーボール(男子) ・バスケットボール(女子) ※個人的技能をチーム戦術に活かし、攻撃と防御を繰り返し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。	◎	○	○	・ルールを理解し、チーム戦術を意識した攻防の中で、個人技能を発揮することができる。(a, b, c) ・個性の違いを理解し、相互に協力してゲームを進行することができる。(a, b, c)	
	3. 陸上競技・球技 ・短距離走、円盤投げ ・バスケットボール(女子) ・バレーボール(男子) ※自己の能力に応じて技能を高め、競技したり、記録を高めたりできる。 ※個人的技能をチーム戦術に活かし、攻撃と防御を繰り返し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わうことができる。	◎	○	○	・スタートから、中間走、フィニッシュまで、走る動作について連続性をもって捉え、有効な動きを身につける。(a, b, c) ・遠くに投げるために必要な技術、体の使い方を理解し、有効な動きを身につける。(a, b, c) ・ルールを理解し、チーム戦術を意識した攻防の中で、個人技能を発揮することができる。(a, b, c) ・個性の違いを理解し、相互に協力してゲームを進行することができる。(a, b, c)	
	4. 球技 ・バドミントン ・卓球 ※基本的なラケット操作を身につけ、空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	◎	○	○	・ボールや羽根を相手側のコートの上のいない空間に変化をつけて打ち返すことができる。	

後期	<p>5. 選択Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー ・ソフトボール <p>※チームの課題や自己の能力に応じた技能の向上, 戦術・作戦を生かした攻防の展開ができる。</p> <p>※目標達成のために、相互に協力し活動することができる。</p>	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解し、チーム戦術を意識した攻防の中で、個人技能を発揮することができる。 (a, b, c) ・個性の違いを理解し、相互に協力して練習、ゲームを進行することができる。 (a, b, c)
	<p>7. 選択Ⅲ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール ・バレーボール ・バドミントン ・卓球 <p>※各種目の特性に応じた課題を見つけ、その競技の楽しさや喜びを感じることができる。</p>	◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解し、チーム戦術を意識した攻防の中で、個人技能を発揮することができる。 (a, b, c) ・個性の違いを理解し、相互に協力して練習、ゲームを進行することができる。 (a, b, c)
	<p>6. 体育理論</p> <p>※ライフステージやライフスタイルに応じて、スポーツライフを設計することの重要性を理解することができる。</p>	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する。 (a, b, c)